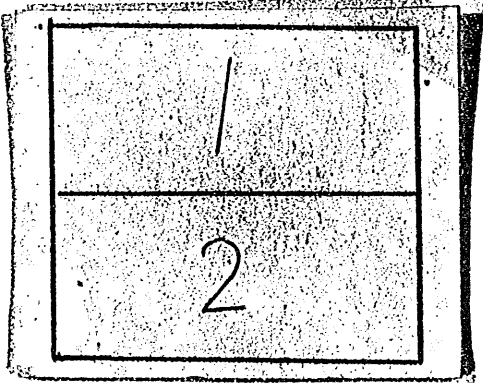


分割撮影ターゲット

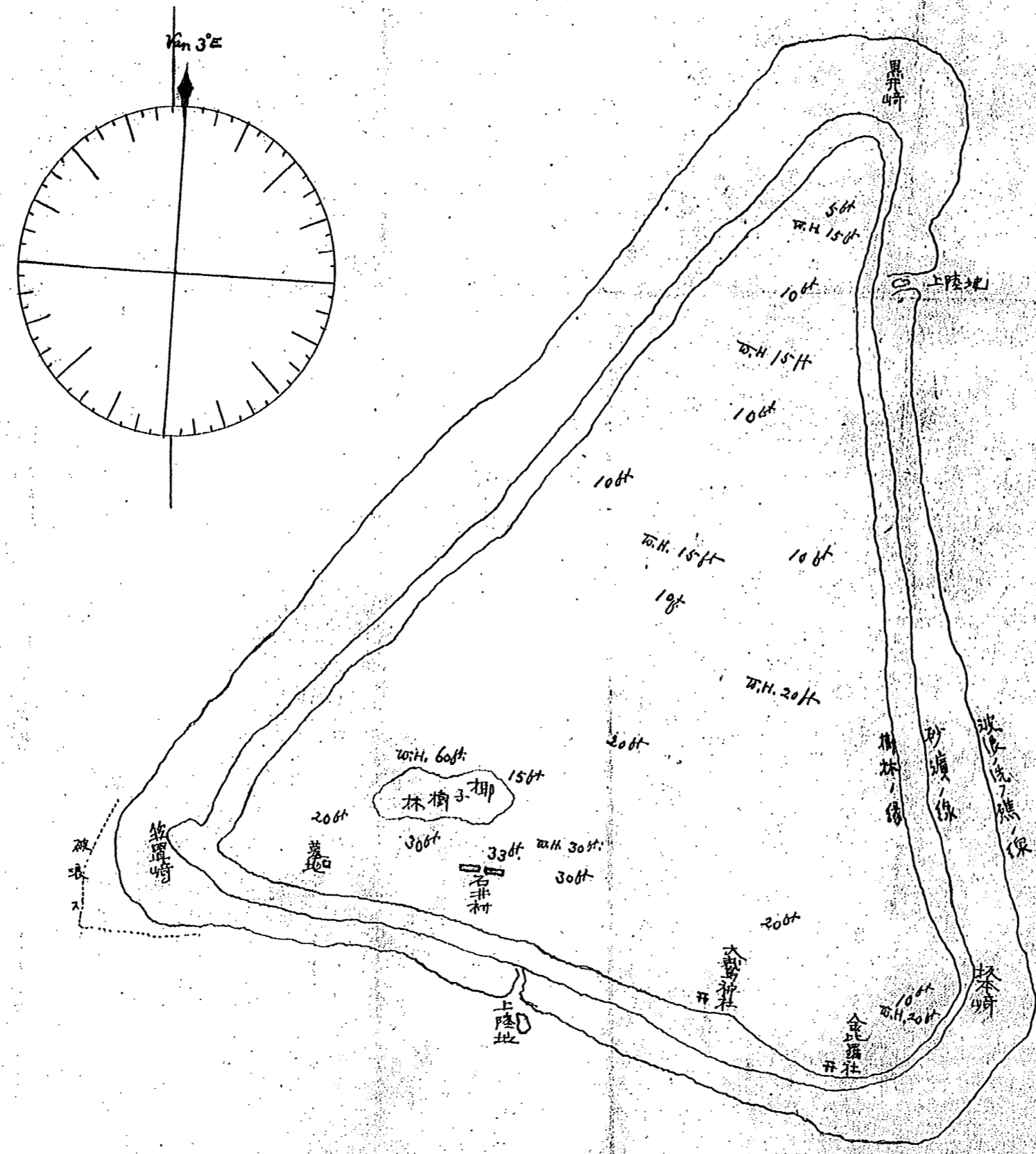
<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3 判 以 上 の た め</p>
<p>上記のとおり分割撮影した事を証明する。</p>	

1475
1476

南鳥島

南鳥島の砂浜は線状に波洗の礁、
線の間は水深三呎乃至五呎あり
南の木の高廿七フ

秋元海軍中尉報告附屬



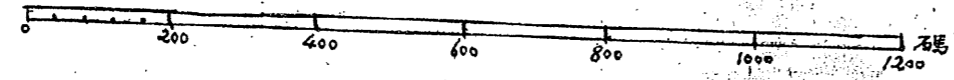
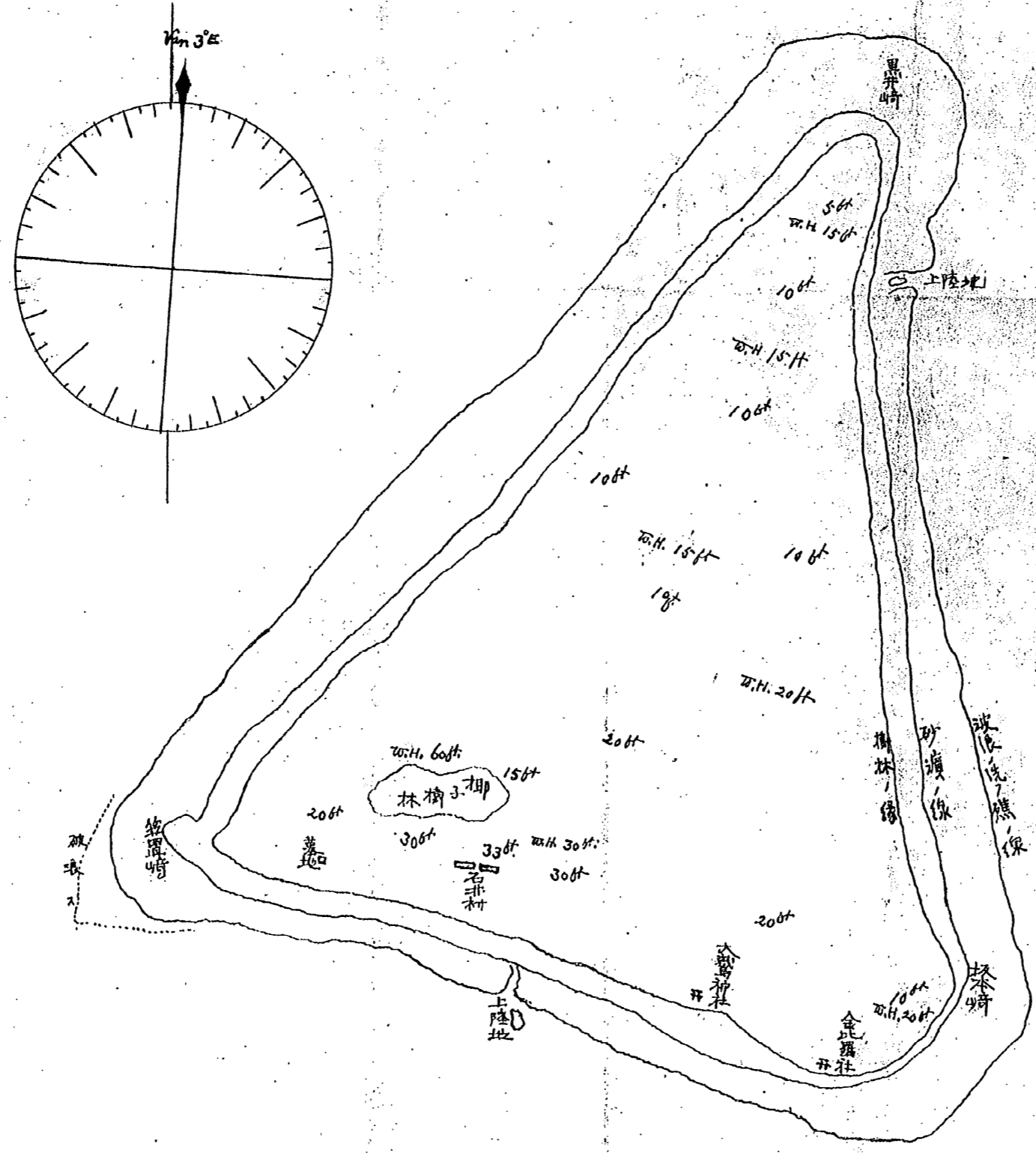
海軍中尉秋元

南鳥島

南鳥島 南鳥島 南鳥島
南鳥島 南鳥島 南鳥島
南鳥島 南鳥島 南鳥島

秋元海軍中尉報告附屬

海軍中尉秋元秀太郎測量



南島島帯土日記

同明治三十五年七月廿八日
至今年八月廿九日

秋元海軍中尉報告附屬

月日	時	晴雨計	寒暖計	天候	雲の状況	湿度	風向	風力	波浪
七月 29	8 am	30.04	95	BC	CK	5	S	0-1	M
	12	30.05	99	"	"	3	SSE	1	"
	4 pm	30.05	94	"	"	2	Φ	0-1	"
30	8 am	30.05	84	"	"	4	SSE	0-1	"
	12	30.04	84	"	"	6	S	1	"
	4 pm	30.02	82	OC	KN	10	"	1	"
	8 "	30.05	80	B	-	0	E	1	"
31	6 am	30.00	81	OC	KN	10	Φ	0-1	"
	8 "	30.04	85	BC	CK	9	S	1	"
	12	30.03	84	OC	KN	10	"	1	"
	4 pm	30.00	81	OC	N	10	N	1	"
八月	8 "	30.05	80	"	"	10	E	1	"
	4 am	30.03	80	BC	CK	9	SSW	1-2	"
	8 "	30.04	84	"	"	3	S	1	"
	12	30.04	91	"	"	3	"	1	"
	4 pm	30.03	87	"	"	4	"	1	"
	8 "	30.06	83	"	"	2	"	1	"
2	5 am	30.02	82	"	"	3	"	1	"
	8 "	30.05	84	"	"	8	SE	1	"
	12	30.04	90	OC	KN	10	W	1	"
	4 pm	30.01	85	"	"	10	S	2	"
3	8 "	30.09	77	OC	N	10	N	1	"
	6 am	30.02	77	OC	KN	10	S	1	"
	8 "	30.04	81	"	"	10	"	1	"
	12	30.05	85	"	"	10	"	0-1	"
	4 pm	30.06	83	"	"	10	"	1	"
	8 "	30.11	81	"	"	10	"	1	"
4	8 am	30.10	81	OC	N	10	"	1	"
	12	30.12	81	OC	"	10	"	1	"
	4 pm	30.14	85	BC	CK	7	E	1	"
	8 "	30.05	81	OC	N	10	"	0-1	"
	12	30.20	77	OC	"	10	"	0-1	"

1478

月日	時	晴雨計	寒暖計	天候	雲形	露降	風向	風力	波浪
5	4 am	30.00	78	bc	ck	9	S	1	M
	8 am	30.12	82	"	"	5	"	1	"
	12	30.12	89	"	"	7	SE	1	"
	4 pm	30.12	81	"	"	3	"	0-1	"
	8 "	30.12	81	"	"	2	"	0-1	"
6	6 am	30.04	79	"	"	9	Φ	0-1	"
	8 "	30.08	82	"	"	5	N	1	"
	12 pm	30.05	90	"	"	7	W	0-1	"
	4 "	30.03	83	oc	KN	10	E	1	"
	8 "	30.07	81	bc	ck	5	Φ	0-1	"
	10 "	30.07	81	"	"	3	"	0-1	"
7	6 am	30.05	80	oc	ck N	10	N	0-1	"
	8 "	30.05	81	bc	ck	9	"	0-1	"
	12	30.08	87	oc	N	10	S	0-1	"
	4 pm	30.06	80	"	"	10	"	0-1	"
	8 "	30.04	79	oc	KN	10	Φ	0-1	"
8	12	30.02	79	bc	ck	1	"	0-1	"
	8 am	30.08	83	"	"	5	N	1	"
	12	30.04	82	"	"	9	E	1	"
	4 pm	30.03	81	oc	KN	10	N	1	"
9	8 "	30.03	80	"	"	10	"	1	"
	8 am	30.07	80	bc	ck	7	"	0-1	"
	12	29.97	90	"	"	3	"	0-1	"
	4 pm	29.94	86	"	"	4	S	1	"
10	8 "	29.97	82	bc	ck N	5	"	0-1	"
	6 am	29.91	80	"	"	8	"	0-1	"
	8 "	29.95	84	bc	ck	3	"	1	"
	12	29.92	88	"	"	3	"	1	"
	4 pm	29.92	86	"	"	2	"	1	"
11	8 "	29.94	83	"	"	3	"	2	"
	8 am	29.95	84	"	"	5	E	2	"
	12	29.98	89	"	"	6	E	2	"

1479

月	日	時	晴雨計	寒暖計	天候	雲形状	晴陰	比	風向	風力	波浪
		4 pm	29.97	84	bc	ck	7		S	1	M
		8 "	29.99	83	"	"	7		"	1	"
	12	4 am	29.97	80	oc	N	10		"	3	M
		8 "	30.01	83	bc	ck	8		"	2	"
		12	29.98	85	"	"	9		"	2	"
		4 pm	29.97	83	oc	N ck	10		"	1	"
		8 "	29.98	79	bc	ck	5		"	3	"
	13	4 am	29.90	82	"	"	9		"	2	"
		8 "	29.92	82	oc	N	10		"	2	"
		12	29.94	84	"	"	10		"	3	"
		4 pm	29.87	78	"	"	10		"	3	"
		8 "	29.90	78	"	"	10		"	3	"
		12	29.84	82	oc	KN	10		"	4	"
	14	4 am	29.83	80	bc	"	9		"	4	"
		8 "	29.88	80	oc	N	10		"	4	"
		12	29.88	80	"	"	10		"	4	"
		4 pm	29.84	78	"	"	10		"	3	"
		8 "	29.92	79	"	"	10		"	3	"
		12	29.92	78	"	"	10		"	3	"
	15	4 am	29.92	79	oc	KN	10		"	3	"
		8 "	29.96	79	oc	N	10		"	3	"
		12	29.94	82	oc	KN	10		"	3	"
		4 pm	29.95	82	bc	"	9		"	2	"
		8 "	29.98	82	oc	"	10		"	2	"
		12	29.99	82	bc	ck	5		"	1	M
	16	4 am	29.99	80	"	"	2		"	1	"
		8 "	30.03	83	"	"	7		"	1	"
		12	30.06	90	"	"	2		"	1	"
		4 pm	30.01	88	"	"	2		E	1	"
		8 "	30.05	82	"	"	3		"	1	"
		12	30.07	83	"	"	5		"	2	"
	17	4 am	30.09	81	"	"	2		"	1	"

1480

月日	時	晴雨計	露降計	天気	層形状	雲量	風向	風力	波浪
	8 am	30.11	84	bc	ck	4	E	1	M
	12	30.11	90	☉	☉	7	☉	1	☉
	4 pm	30.05	85	☉	☉	8	S	1	☉
	8 pm	30.13	82	☉	☉	7	E	1	☉
	12	30.10	83	☉	☉	5	☉	1	☉
18	4 am	30.10	81	☉	☉	6	☉	1	☉
	8	30.13	83	☉	☉	5	☉	1	☉
	12	30.12	91	☉	☉	3	☉	1	☉
	4 pm	30.09	87	☉	☉	4	☉	1	☉
	8	30.13	82	☉	☉	5	☉	1	☉
	12	30.10	82	☉	☉	7	☉	1	☉
19	4 am	30.08	81	☉	☉	3	☉	1	☉
	8	30.11	86	☉	☉	1	S	0-1	☉
	12	30.12	91	☉	☉	5	E	0-1	☉
	4 pm	30.07	86	☉	☉	1	☉	0-1	☉
	8	30.10	82	☉	☉	1	☉	0-1	☉
20	4 am	30.05	79	☉	☉	4	☉	1	☉
	8	30.05	82	☉	☉	3	☉	1	☉
	12	30.06	91	☉	☉	4	N	0-1	☉
	4 pm	30.01	86	☉	☉	2	☉	0-1	☉
	8	30.03	87	☉	☉	8	☉	0-1	☉
	12	30.02	80	☉	☉	7	☉	0-1	☉
21	4 am	30.01	78	☉	☉	5	W	0-1	☉
	8	30.04	84	☉	☉	3	N	0-1	☉
	12	30.03	91	☉	☉	4	☉	0-1	☉
	4 pm	29.99	86	☉	☉	2	☉	0-1	☉
	8	30.01	81	☉	☉	1	☉	0-1	☉
22	6 am	30.00	78	☉	☉	4	☉	0-1	☉
	8	30.00	82	☉	☉	3	☉	0-1	☉
	12	30.00	92	☉	☉	1	☉	0-1	☉
	4 pm	30.07	88	☉	☉	1	☉	0-1	☉
	8	30.00	78	☉	☉	1	☉	0-1	☉

1481

月日	時	晴雨計	露点計	天候	雲形状	晴時 陰時	風向	風力	波浪
23	4 am	29.97	76	bc	CR	2	S	1	M
	8 "	29.98	82	"	"	1	"	1	"
	12	30.00	92	"	"	2	"	1	"
	4 pm	29.99	88	"	"	4	E	0-1	"
	8 "	30.00	82	"	"	2	W	0-1	"
24	4 am	29.95	80	"	"	5	"	0-1	"
	8 "	29.97	82	"	"	6	E	1	"
	12	29.95	91	"	"	7	N	1	"
	4 pm	29.94	84	"	"	6	"	1	"
	8 "	29.97	82	"	"	5	"	1	"
25	6 am	29.93	79	"	"	1	E	1	"
	8 "	29.94	85	"	"	6	N	1	"
	12	29.94	90	"	"	8	"	1	"
	4 pm	29.94	84	"	"	6	E	1	"
	8 "	29.96	81	"	"	2	"	0-1	"
26	4 am	29.97	81	"	"	3	"	1	"
	8 "	29.99	84	"	"	4	"	1	"
	12	30.03	93	"	"	3	"	1	"
	4 pm	30.00	88	"	"	5	"	1	"
	8 "	30.04	84	"	"	2	W	1	"
27	4 am	30.01	81	"	"	3	S	1	"
	8 "	30.06	85	"	"	7	"	1	"
	12	30.02	90	"	"	5	E	1	"
	4 pm	30.00	85	"	"	7	"	1	"
	8 "	30.03	83	"	"	3	"	1	"
28	6 am	29.99	82	"	"	4	"	2	"
	8 "	30.02	84	"	"	2	"	2	"

午前	八〇〇	南島島、笠置乗組員十七名上陸家屋建築等行事
午前	一〇三〇	笠置横須賀、向ヶ南島島出帆
午前	一〇〇〇	本所手携帶カセ蒸酒器ヲ備付シ蒸酒水取方ヲ始メ
午前	六〇〇	蒸酒水取方ヲ止ム(高ニ事)今時ハ家屋落成 本日時計ヲ造シ
午前	七〇〇	倉庫建築及蒸酒水取方
午前	一〇〇〇	糧食運搬
午前	一〇三〇	米船帆ヲ引リア、エ、ワ、レン、シ号乗取直々之ヲ訪フ
午後	一〇三〇	米船帆長「エ、エ、ワ、レン、シ」北米在敷園農務者特以自博士 ア、エ、ワ、レン、シ、ド、ウ、サ、ク、及、ヒ、ト、ビ、シ、ニ、シ、ラ、ヲ、博、物、館、南、島、部、主、幹、博、士 カ、シ、ク、シ、ト、エ、ト、シ、シ、テ、來、來、時、ニ、シ、テ、退、去、者、向、向、一、週、向、地、質 動、地、物、研、究、ノ、為、メ、博、物、館、南、島、部、主、幹、博、士 ヲ、降、雨、(十五分間)
午後	六〇〇	凡、糧、食、ノ、倉、庫、納、入、今、時、蒸、酒、水、取、方、ヲ、止、ム、(高ニ事)
午後	六〇〇	島民ノ用意カセ耐敷造器ヲ蒸酒水取方
午後	一〇〇〇	降雨被服洗濯及雨水取方
午後	一〇〇〇	蒸酒水取方ヲ止ム(高ニ事)
午後	一〇〇〇	雨止天水凡ソ五石在敷
午後	六〇〇	再ビ降雨、軒下ノ止
午後	七〇〇	測高儀及測量器ヲ造シ
午後	一〇〇〇	測高儀及測量器ヲ造シ
午後	六〇〇〇	測量器ヲ造シ
午後	六〇〇〇	降雨
午後	九〇〇	所産米ノ雨止

午前	一〇三〇	測量器ヲ換潮ヲ始メ
午前	一〇三〇	降雨、雨止
午前	二〇〇〇	雨全ク止
午前	五〇〇〇	蒸酒水取方ヲ止ム
午前	五〇一〇	日本帆船大島丸來着 右出帆
午前	七〇〇〇	降雨(十五分間) 七日
午前	九〇〇〇	降雨(十五分間)
午前	九〇五〇	降雨
午後	一〇〇〇	米船帆「ワ、ア、レン、シ」号出帆
午後	一〇〇〇	雨止
午後	一〇〇〇	降雨、軒下ノ止
午後	六〇〇〇	測量器ヲ造シ
午後	九〇三〇	降雨(十五分間)
午後	六〇〇〇	降雨(十五分間)
午後	六〇〇〇	降雨(十五分間)
午後	三〇〇〇	細雨、雨止
午後	三〇〇〇	細雨、雨止
午後	一〇五〇	降雨、雨止
午後	一〇五〇	降雨、雨止
午後	一〇〇〇	大雨(十五分間)
午後	四〇〇〇	雨止、降雨、雨止
午後	一〇〇〇	大雨(十五分間)
午後	一〇〇〇	大雨(十五分間) 風稍強シ
午後	九〇〇〇	昨日來時降雨、雨止

午 九 〇 〇	午 一 〇 〇 〇	午 四 〇 〇	午 一 〇 〇 〇	午 一 五 〇	午 三 〇 〇	午 六 〇 〇	午 九 〇 〇	午 九 三 〇	午 九 〇 〇	午 九 五 〇	午 九 〇 〇	午 二 〇 〇	午 五 〇 〇	午 五 〇 〇	午 七 〇 〇	午 五 〇 〇	午 一 三 〇	午 〇 〇 〇	
一昨日来時ハ降雨アリ其時雨を止ム	大雨(約1時間)風稍強シ	頃々時々降雨僅雷云侍	大雨(10分間)	大雨(30分間)	大雨(10分間)	細雨(10分間)	夜中少し降雨アリ	細雨(10分間)	細雨(10分間)	細雨(10分間)	細雨(10分間)	細雨(10分間)	細雨(10分間)	細雨(10分間)	細雨(10分間)	細雨(10分間)	細雨(10分間)	細雨(10分間)	細雨(10分間)
十五日	十五日	十三日	十三日	十二日	十一日	十一日	十日	十日	十日	八日	八日	七日	六日	五日	五日	五日	五日	五日	五日

午 三〇〇	細雨 三〇〇	十七日
午 一〇〇	降雨 一〇〇	十八日
午 二〇〇	降雨 二〇〇	廿三日
午 六五〇	降雨 六五〇	廿四日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	廿五日
午 二〇〇	降雨 二〇〇	廿七日
午 六〇〇	降雨 六〇〇	廿八日
午 九〇〇	降雨 九〇〇	廿九日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	三十日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	三十一日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	一日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	二日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	三日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	四日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	五日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	六日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	七日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	八日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	九日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	十日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	十一日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	十二日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	十三日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	十四日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	十五日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	十六日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	十七日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	十八日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	十九日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	二十日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	二十一日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	二十二日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	二十三日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	二十四日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	二十五日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	二十六日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	二十七日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	二十八日
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	二十九年
午 一〇〇〇	降雨 一〇〇〇	三十年

供覽

軍務局

第一局
第二局
第三局

1486

御

九月十日進

九月九日進

九月九日進

九月九日進

別冊 浅川 大尉 島島 視察報告及滝山
大主計 南島島 現況報告 相添、及報告
美也

明治三十五年九月八日

高千穂 船長 梶川 良吉

海軍大臣 男爵 山本 權兵衛 殿



海

早

1487

南洋諸島回航報告

七月廿二日

午後五時横須賀ヲ發ス天候平晴ニシテ南微風アリ海上平穩漸
第ニ第三海堡ニ近ツクニ及ニ微霧ニ遇、午後八時十五分洲ノ南
東ニ埋四分、三ニ望ニ起陸地トシテ是レヨリ針路ヲ南八分ニ定メ
八丈嶋ノ東端神子崎ニ巨ルニ埋四分、三ニ向、戸齋百十度マナリ

七月廿三日

晴天南風微風アリ風力一手前八時三十分ニ至リ推測ヲ以テ豫定地
神子崎ノ東端ヲ巨ルニ約ニ埋半ニアルハキモ未ダ八丈嶋ヲ認ム能ス
依ラ天測ヲ以テ北緯三十三度六分三十分東経百四十度八分四十分ナ
ルニ定ム

則チ起程地ヨリ一時間一埋ニ速カラテ東ニ壓流セシムリ是ヨリ
針路ヲ八丈嶋神子崎ニ向テ洞輪沈シ視察シ小岩ヲ崎ニ過ラテ薩

横濱分館印刷

テ江の観察し十時廿四分ハ丈嶋西端ヲ北ニ十七度西ハ岩手岨ノ北ニ十
 度東ニ見テ針路ヲ南四分ニ兩トシ青嶋ニ向テ時ニ異常ヲ認メス
 汽船兵庫丸ニ遭遇シ豫期セシカ合セス

八丈嶋附近ハ西凡ニ區ノリ凡ノ一乃至ニ小岩戸岨ノ東方約ニ哩ニ於
 テ潮流ノ著シク集流スルヲ見ル

洲ノ南ヨリハ丈嶋ニ至ル航海中晴雨計集暖計及海水
 温度等尤ク如シ

時間晴雨計寒暖計海水温度 記事

二十三日	午前八時	二十九	九一	八	一	風ハ南東ヨリ南ヲ至テ南西ニ
	午後十時	二十九	九一	八	二七	至リ風ハ約一海上ヲ獲テリハ丈
正	子	二十九	九一	八	一	嶋附近ニ於テ西ノ風ハ凡ノ力一乃至
二十三日	午前二時	二十九	九一	八	二八	一ニ區フ
	午前四時	二十九	九一	八	三	

午前六時	二九	九二	八三	八〇
午前八時	二九	九三	八三	三

八丈嶼及青ヶ島南の巨島約三十四哩ありて海流の八丈嶼以北、及び威せか
 して先商多ク、東流アリ午後一時ナキ分嶼に近ツルニ及ヒ北より東に
 廻リテ南方ニ巨岸約一哩まニテ出帆セリ南東諸島に巨島約一哩ニ海流
 アリ波浪シキセリ嶼、南方ニ於テ渡舟ニ隻浮ルルヲ以テ則チ本
 艦ヲ停止シ復等シ時ニテ巨嶼噴火、事ヲ汎聞セシニ知ラズバ、春
 又リ近時本嶼、漂流民、有無嶼内、異者海濱、温氣な地震
 等ニ就キ訊問セシニ屢賦ナク、春、依テ午後二時四十分針路、
 南西分ニ由ニ定ム、北ヨリテ、列島、東に約六哩ニ向リ

測報

青ヶ島東端北、西二分、南三十度、突、水深百五十尋ニシテ底

ニ達セス

八丈嶋青ヶ嶋間航行中一時間約一里、潮流ニ遇、

海面より波ノ列岩ノ北方ニ入ル浪、位置ハ本航ニ正獨

ニ理ニ通達セシカ身ヲ在ラ認ル能ス

午後五時五十分「ボヨネー」列岩ヲ東南集ル浪ニ望ミ針路ノ南

四分ノ三東トナレ「スミ」嶋乃旧丸山嶋、中間ニ向、午後八時ニ至リ夜

間「スミ」嶋ヲ発見シ航ガル、掛念「スミ」以テ針路ヲ南西トナレ

「スミ」嶋及旧丸山嶋ノ位置ヲ避ク午後十一時ニ至リ針路ヲ南西トナレ

本航速カシ履キ減シテ島嶋ニ向

八丈嶋ヨリ青ヶ嶋及「ボヨネー」列岩ニ至ル

時 間 晴 雨 計 寒 暖 計 海 水 温 度 記 事

廿三日 午前十時 二九・九三・八四・八〇 凡内ノ南ニ西ヨリ西ニ至リ舟

正 午 二九・九四・八二・八〇 比摩西ノ南ニ施ル凡日一乃至

午後二時 二九・九四 八三 二 八
 午後四時 二九・九五 八三 三 八
 午後六時 二九・九三 八二 二 八
 午後八時 二九・九三 八二 二 八
 午後十時 三〇・〇四 八二 二 八
 正午 三〇・〇一 八一 一 八
 午前二時 三〇・〇一 八一 一 八
 午前四時 三〇・〇一 八一 一 八
 午前六時 三〇・〇〇 八一 一 八
 午前八時 三〇・〇〇 八一 一 八

時 間 晴 雨 討 集 暖 討 海 水 温 度 記 事
 午後八時 二九・九八 八一 二 八
 午後十時 三〇・〇四 八二 二 八
 正午 三〇・〇一 八一 一 八
 午前二時 三〇・〇一 八一 一 八
 午前四時 三〇・〇一 八一 一 八
 午前六時 三〇・〇〇 八一 一 八
 午前八時 三〇・〇〇 八一 一 八

午後八時 二九・九八 八一 二 八
 午後十時 三〇・〇四 八二 二 八
 正午 三〇・〇一 八一 一 八
 午前二時 三〇・〇一 八一 一 八
 午前四時 三〇・〇一 八一 一 八
 午前六時 三〇・〇〇 八一 一 八
 午前八時 三〇・〇〇 八一 一 八

午後八時 二九・九八 八一 二 八
 午後十時 三〇・〇四 八二 二 八
 正午 三〇・〇一 八一 一 八
 午前二時 三〇・〇一 八一 一 八
 午前四時 三〇・〇一 八一 一 八
 午前六時 三〇・〇〇 八一 一 八
 午前八時 三〇・〇〇 八一 一 八

横濱分館印刷

午前十時三〇三八 四八二

危険)

一 スミエ岬の旧カシ島ナト印ヲ指濱シ北西ヨリ延長セハ一
 條ニ於テスミエ岬ヨリ巨ルニテ大渚ニ暗岩アリ帆船覆没ノ附
 近航海ノ際波浪ノ洗ハルニ數回認メヨリトシ然レ凡其ノ位置ハ
 確ナラズト

ニ 鳥嶋北西ニ分ニ兩ナリ渚ノ位置ニ暗岩アリ帆船覆没ノ附
 ヲ波浪ノ洗ハルニ認メヨリトシ

但シ位置正確ナラズト云フ
 小笠原群島ノ西ヨリロガリオシ岬ハ小笠原島人之シ西岬ト称スト
 云

桑港岩ハ汽船長尾丸常ニ該岩トスミエ岬トノ中間ニ航行
 シ危レ凡膏ヲ其ノ存在ニ認メタルニ無シ又ヨ旧丸山嶋(海面上)

(E) モ層ヲ認リタルヲセリト云リ

夫ハ兵庫丸船員ノ言ニ據ル

八丈島ノ鳥嶋間ノ航海ハ西島間ノ東流アリニテナラズ西島間ニ據ル
ノ以西ニ諸危険存在スルヲ以テ通常ノ航路ハ右接合線以東ニ可トス
ルモ、ナシ

廿四日

午前中諸北果々集ルハ一隊ニ鳥嶋ノ魂ハ今六時ヨリ建リシ減シ針路
ヲ該島ニ向ク午前七時汽船兵庫丸該島ニ向テ直航シタルヲ認ル
衝、北島ニ近クノト針路ノ不定トナレテ午時汽船ノ視察ヲ島ノ西岸ノ所
ニ約三哩ニシテ海水底ノ姿色セリヲ認ル時ノ測錘ニ今午島ノ西岸ノ
膏三哩迄ニ至リテ深クニシテ底ノ姿色セリト時亦既ニ午時汽船ノ西岸
的一哩半ニシテ停止シ視察船員他乗乗者等シテ陸セシノ巨岸
一哩半ノ所ニ至リテ深クニシテ底ノ姿色セリト時亦既ニ午時汽船

嶋に海面上に記載せしアル一七六峽頂、大部の崩壊し其他西の海岸
 こそ許の崩壊アリ大体に於てハ海國に見取同ト思ヒキテ遠ナレ磯丸
 ハ山頂ニテ底白雲煙ヲ吐ケシテ五分乃至二十分毎ニ周大に巻リ又嶋ノ
 西北山腹ニ草木ノ殘キノミコシテ中ニ盡ク灰及砂ヲ以テ所積ハシテ
 歳月ノ如キに全ク灰石ヲ以テ埋没シ旧形ヲ消セズ
 兵船丸報者、海中噴火ノ具、痕跡ヲ見タリ峯ノ岸ヨリ海中ニ岸
 方ニ約一里海の色ニ變スルヲ見タリ是レ則チ兵船丸報者、信通ニ
 適合セリ其ノ位置海山ニ接シ且ニ海ノ變色アリテ早ク危險ヲ認
 ムルヲ以テ該方向ノ巨岸ニ海軍を遣送セシムル外別ニ變状ヲ認メス
 嶋ノ周圍ハ巨岸一層ノ環ニ環シ巨テ航スルニ亦海ノ變色ノ別別ニ危
 険ヲ認メス但チ前記ノ嶋ノ西ノ約三哩向ノ海ノ變色ニ本艦ハ其
 ノ變色内ノ航セシモ變状ヲ認メサリシ
 端艇ニテハ陸セシノ巨岸、所積ノヨリスル、仲道ニ向ヌルヲ所ナシ

本航ハ西角附近、漂泊セリ

測 録

西端

南四分一西

北端

南四分一南

四八ヨリ

西端

南三分一西

北端

南四分一南

三五ヨリ

北端

西四分一南

南端

南四分一西

一七五ヨリ

海水温度ハ岨、周圍八十一乃至八十二度、大氣温度最高八十七度、最低

八十二度ナリ

午後七時四十分、山鳥、仲失シ、正南ニ岨ニ望ミ、東至百四十二度附近、暗礁ヲ見

ケル、針路ヲ南七十二度、東トナシ、南鳥岨ニ向フ

廿五日

午後七時、針路ヲ南七十二度、東トナシ、南鳥岨ニ向フ、正午、天測ヲ以テ

本航、位置北緯三十九度三十分、東至百四十二度三十分、南緯三十九度三十分、知ル

ト鳥岨ニ向フ、航程一百八十三里ナリ、拒測、位置ト相違スルヲ後ニ

測量分冊印刷

北東四哩ナリ昨ノ早景ニハハナリシオ本朝正午頃ヨリ北東ニハハナリ
 凡候天候凡所減等ノ察スル。貿易凡ハ鞆園ニハハナリモ、如シキ
 后二時廿八分驛所早龍巻ノ屋敷本航ヲ據メタリ右船右方約五哩ニ
 至リ龍巻現出シ見ル午後二時驛所舟ハ早龍巻野崎ニシテ止ム
 廿六日

正午元割ニシテ本航、信屋ニ共事ニテハ度甲外景ニ自今ノ度キ
 五分ナリ知ル抱洲ノ信屋ニ共事ニテハ南東六哩ナリ昨ハ正午早航程ニ
 百十四哩本航ハ南ニ度景ノ針路ニテ南島嶼ニ向、午後一時驛所早
 龍巻野崎ニシテ見ル昨正午早凡向北東ノ早龍巻ノ野崎ニシテ
 依テ貿易凡ハ鞆園ナルガ如シ

廿七日

晴雨計三〇。九ヨリ三〇。四ノ向ニシテ天候早龍巻ノ早景ヨリ南東
 凡夏ノオニ乃三三ナリ正午本航信屋北東ニシテ度甲ノ五分早景

五十度三十分ナリ午前十一時七分驟雨来ニ見ヨリ午迄ニ至リ時々驟雨ト
遇フ為メニ天候平穩ナリト云モ稍東南東ノ風カ増シ波浪ヲ生ズ

本日午前九時三十分ヨリ東徑百五十度ノ標準時ヲ用ヒ時辰ヲ改メ

昨正午ヨリ本日正午迄航程ニ百五十哩ニシテ推測ト其位置ヲ変ズト

南九哩見レ偏差ノ異変及時自差ノ原因セルノ如ク特ニ海流ニハ

感ゼんガ如シ

廿日

午前九時三十分カ艇首約一哩半左舷ニ當リ南鳥島ヲ認メ左四十七分

針路ヲ東ニ変ジ該島ノ中央ニ向フ上時石井浦沖ニ到リ一哩ヲ過テ

漂泊ス處ニ駐在隊長秋元中尉来リ報カラク七月三十分カ艇ヨリア、エ、ワ、

レト号来リ任務ヲ終ヘリト即ケ艇艇及傳馬船ヲ必遣シ軍艦並置殘員

及物品ヲ收納ナシ夜間東風ノ為メ本島ノ西方約五哩ニ在テ漂泊ス

南鳥島至南鳥島

如ク全嶋濱未嘗茂シ内ニ樹アリ住民、最も貴重スルモノナリ其
 他燻マシ類似セリ樹アリ住民其葉ヲ乾糶シ相シテ代用スル云
 々其外食用ニ使スル野菜類ナレ嶋内産ナリトモ澤山ニ
 シテ塩ヲシテ飲用ニ適セシ住民、天々ク食用ニ其法ニ
 屋根下ニ大ナルカスシ敷物ニ係リ、陰天ニ貯シ使用ニ
 当リ是レシ瀆過スルモノナシ食料ニ僅ニ海岸ニ澤山ニ食肉ナ
 。

鳥肉トシテ食物ナレ

一海岸ノ岩隴ハ其北西ノ岸ニ最モ多ク海濱ヨリ約一海里有、此ノ
 係列セリ

本既ニ石月浦沖合ノ一壘ニ漂泊シ伝馬船ヲ以テ其處ニ物々
 ノ販入トシ送セリ上陸場ハ石月浦海濱ニ武門柱或ハ住
 民ノ家屋ニ通スル道路ヲ望ミ得ルシモ、前チシ道者トス然レバ大
 辺山石多ク、端艇ハ遠岸ニ得ル可ク、ガムラ以テ巨岩ノ三ノ果

突ニテ岩をり高レ水邊ニハ尋ニ處ニ拔歸シ然レ右ニ得馬ニ上
陸ス可シ且高ク早復ハ百キテヨリニテ車道底ナリ

本船漂泊中凡高東ニシテ奥カ一ノ至ニ晴前計長取ル三〇〇
ニ長抵三九七ノ寒暖計長取九〇最抵八三海氷濃ニ八十二カ
至八十五ナリ夜間ハ鳥ノ毎方約五ニ種ニ在ッテ漂泊ナリ

一信民・状況尋事航望遠鏡・載去、如レ但シ思ニ若ク一各脚長
病、多メ歐國復乗リ願キシ許可セシレニ故朝セリ依テ信民男
三三人女三名トナレリ猶ホ信民中脚長病患者、如キモ、アルヲ見

廿九日

午所至の事南信鳥ニ向、坂道ニ時若月角、漂泊シ、物
付搭載、ある午後一時四十迄分右終、ハリ以テ針路ヲ北八十度
再ニ定メ、北八十度ニ向、夜時ニ驟雨ニ遇ッ

凡向東にシテ凡カニ乃至三依テカノルノカノリシノ「ステリス」展ス

世日

正午天測ニ依リ本航、位置北緯三十四度五分ニテ七時辰至百
零九度五十分五十分秒ニ在リ東北緯ノ凡ニ乃至三加フルニ「ステリス」
展セルコト以テ正午天測位置推測ヨリ午至ニテ四時ニ至リ昨日事航程
二百十二哩ナリ

廿一日

正午位置北緯三十五度五十分五分秒東経百四十五度四分三十分ニシテ
凡候車ノ至東北緯三十四度五分ニ至ル終日驟雨時々身籠ル所浪
漸々高シ昨午東航程二百二十八哩ナリ明辰ヨリ百三十五度、穩便ナリ改

九月一日

風向東凡カニ乃至三依浪高ク極々荒天、此候ナリ午前

六時船首に父島ヲ認ル依テ針路ヲ西四分一南ニ表シ南嶋・南島ヲ
 リニ本島附近ノ危険ヲ避ケニ見港内ニ通リ據テ正東ニ見テ入港
 十時四十分九時鐘ノ投下ニ水深三ツ身砂底鋪位要若ク南
 々度八分五身鳥嶋子岩西四分北加山北身二分ニ要アリ
 天候陰鬱ニシテ島民ノ言ニ據ルニ本島附近ノ颶風ノ母ヨリ初
 ヲ南ニ吹ク同ノ終ニ北ニ吹ク故ニ其ノ時ニ本島ノ東ノ島ノ北ニ
 吹ク

西島測量ノ結果

測日	正午至	緯度	経度	天候	風	波	水深	針路	備考
廿九日	24°14'N	152°12'E	BC	BC	晴	穏	九〇	八三	午後驟雨ニ過
卅日	24°31'N	149°13'E	BC	BC	晴	穏	八七	八三	夜間南風ノ急ニ過
卅一日	24°59'N	148°42'E	BC	BC	晴	穏	八五	八三	難波ノ急ニ過
初一日			BC	BC	晴	穏	八四	八三	難波ノ急ニ過

南島嶋ヨリカニ厚嶋ニ至ル海ノ上ノ雲ルニ東凡コシテ順凡ナリシガ驟雨来
 龍ノ類ニナルト又ニ漸ク波浪リシヨリカニ厚嶋ニ近ツクナテ依然東凡
 ナリシモ天候稍ヤ陰劣ニシテ波浪息ル高ク然レ凡晴雨計ニ北候
 シ見ズ

九月三日

午三前凡時カニ厚嶋ニ見渡リテ壱婦岩ニ向フ航程百九十五哩
 ナリ港ヨリ望ミヤ針路ヲ北ニテセシムトナレ前夜カテリスヒラ展シ
 壱婦岩ノ東ニ立陸ニ向フ天候晴天ナリト云モ北東ノ凡息ルカ
 至四シテ波浪息ル高ク本航程ノ遠ニテ三度ニ達シ晴雨計
 三度抵ニ九ノ九ニ至ル南三〇〇ノ風候計最高八ノ九ニ度最抵八十
 三度凡向東ニ北東ニシテ三ノ至四ナリ

九月四日

午三前時ニ至ルモ未カ壱婦岩ニ認め能ズ本航程ヨリ遠ク至ルニ已

航退ヒルモ、今ナキ鳥嶋ノ北ニ集ニ分ニ集ニ認レ依テ全針
 路ニテ鳥嶋ニ向テ行ツテ後テ丸楯上舞島多ク^妙可^ク同^ク集^ル港^ニ
 降テ於テル事ヒシガ不嶋、南テ依然^ニ海ノ音色^シ海底^ニキモ
 、如シ本航ハ南テヨリ厚テ^ニ廻^リテ付^キナキ^ニ意^ニ置^テ正^ニ海^ニ航^ス
 望テ^テスミ^ス嶋^カ柔^ク港^ニ出^テ岩^ニ中^ニ先^ニ向^テ正^ニ年^ノス^ニ嶋^ニ正^ニ海^ニ也^ニ
 見テ通過^シ正^ニ北^ニ針^路ニ^テ鮮^ニ島^ニ向^テ
 柔^ク港^ニ出^テ後^ニ柔^ク港^ニ出^テ岩^ニ中^ニ先^ニ向^テ正^ニ年^ノス^ニ嶋^ニ正^ニ海^ニ也^ニ
 降^テモ^ト右^ニ左^ニニ^テ唯^ニ年^ノ航^ス也^ニ其^ノ方^ニ認^メス
 昨日^ニ来^テ北^ニ集^ルノ依^テ其^ノ方^ニ向^テ行^ク也^ニ其^ノ方^ニ向^テ行^ク也^ニ
 高^ク航^スニ^テ八^十度^ノ航^ス、動^ク搖^ルツ^テス^ル、暗^ク内^ニ計^ル、最^モ南^ニ九^十七^度航^ス
 航^ス、九^十一^度航^ス、計^ル八^十五^度航^ス、乃^チ至^リ八^十七^度航^ス、海^ノ底^ニ八^十三^度
 八^十一^度航^ス

九月五日

午三時四十分北西より西半分の西に雲計ヌまの犬島を認る能ハス
 五時三十分に至り英船船首の位置をヤウ陸岸ヲ認メ五時半
 五分野島端ヲ望ミ北々西半分の西に認レ依ラ本航の昨夜午後
 六時三十分の位置より北々西半分一北八哩ヨリ今朝四時三十分の
 位置より十八哩日本海流、為メニ層流セルルヲ知ル凡向依
 然北草凡の如き上テモ其潮流ニ違フシ以テ八丈島を先出島
 潮流急激ナルヲ知ル可シ晴雨計最高三九・九七最抵三九
 九一更暖計最高八十三より高抵今一度波浪甚大なる所
 此船は二十三日午前十時横須賀島岸に入港現
 在ス

鳥嶋異音

八月廿一日、西岸に陸に三嶋並出
 雲色し居り、雲色新の候に、
 十レ油取、異音、状、事、如し



煇火にり、ゆき、灰不、嶋、西、才、た、ん、腹、草、木、ヲ、洗、残、り、シ、千、歲、浦、及、東、新、南、新、
 島、七、多、ク、採、ク、樹、ノ、根、モ、カ、リ、云、葉、付、方、石、木、草、木、及、野、系、等、青、々、ト、生、長、シ、居、リ、カ、
 け、云、火、島、ノ、一、部、ト、新、ク、傳、レ、此、世、古、文、本、ノ、様、子、ト、同、ク、

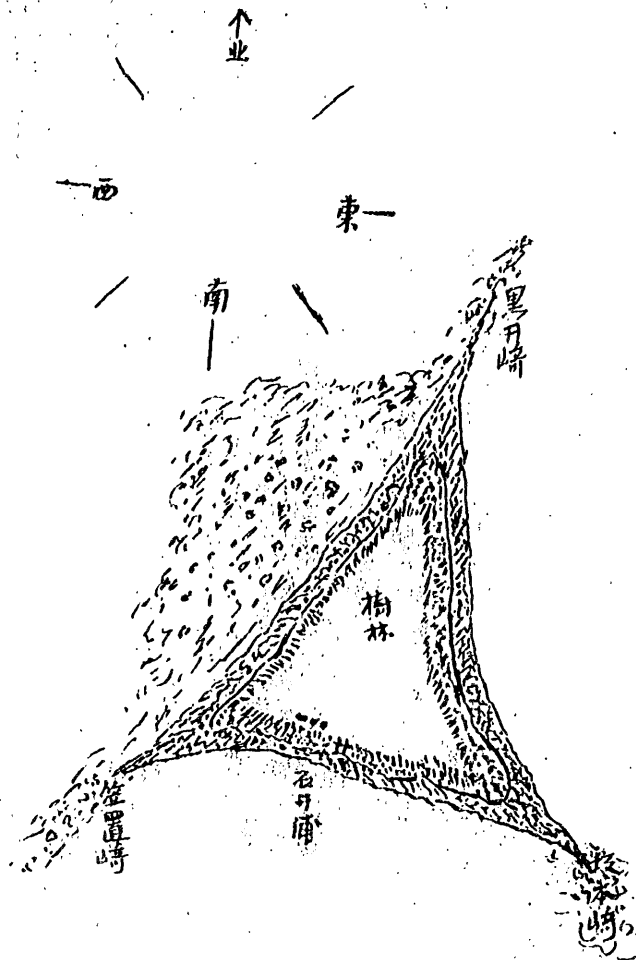
此、山、腹、ノ、石、木、草、木、及、野、系、等、青、々、ト、生、長、シ、居、リ、カ、
 従、來、テ、油、取、ニ、來、テ、一、日、
 元、々、シ、シ、今、日、ノ、様、子、ト、同、ク、
 油、取、ニ、來、テ、積、重、ト、セ、タ、リ、

此、山、腹、ノ、石、木、草、木、及、野、系、等、青、々、ト、生、長、シ、居、リ、カ、
 従、來、テ、油、取、ニ、來、テ、一、日、
 元、々、シ、シ、今、日、ノ、様、子、ト、同、ク、
 油、取、ニ、來、テ、積、重、ト、セ、タ、リ、

嶋、南、古、ク、
 海、中、約、一、哩、古、海、水、
 委、色、ク、海、中、積、重、
 為、成、ク、リ、カ、
 十、三、ト、積、重、ト、セ、タ、リ、
 則、定、ト、積、重、ト、セ、タ、リ、

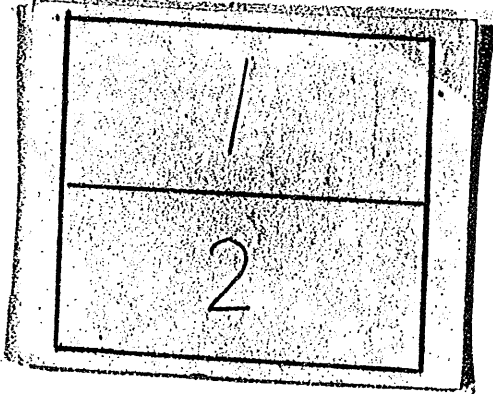
南鳥嶋果圖

軍艦至置報告ト今尺度



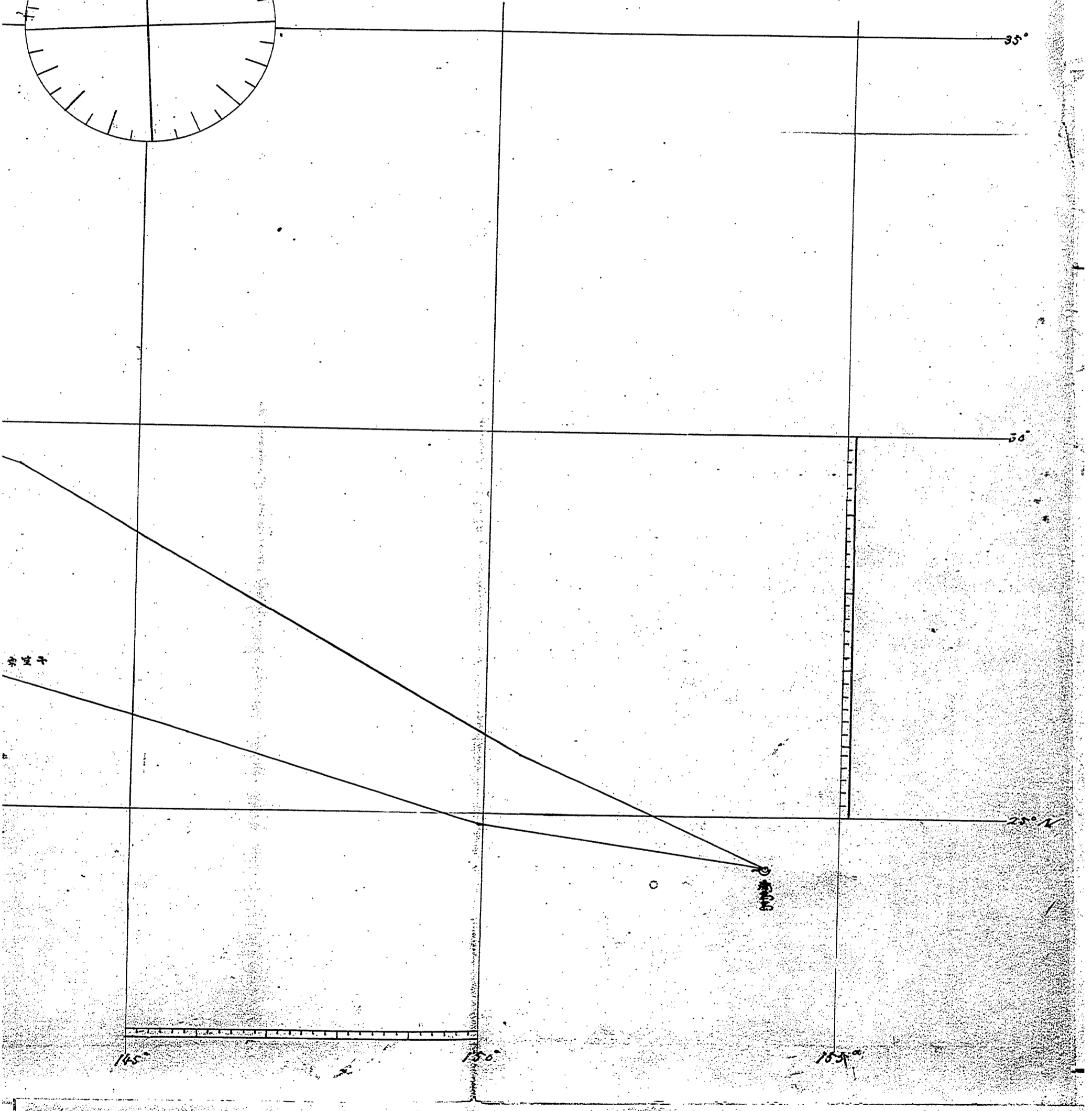
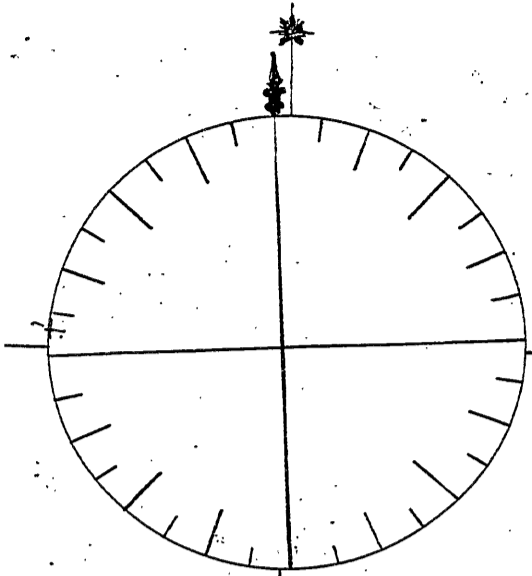
笠置嶋は南鳥嶋の北にあり、斗まは流の約五鍾に於て若石水にあり、其海水、乃
 ナ、此の東也。
 北西岸ノ岸ハ特ニ礁石散在シ海水ニ重色シ居リ、其色ハ赤シ、海産物ヲ其ノ際ニ
 石井浦ニ在リ、其ノ岸ハ石井浦ノ位ニあり、小艇ノ意者、其ノ方ニ門ノ形ヲ有ス
 笠置嶋ハ、時者C及時者Bハ、其ノ影ト相違ナク、特ニ精妙ナリ

分割撮影ターゲット

<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3 判 以 上 の た め</p>
<p>上記のとおり分割撮影した事を証明する。</p>	

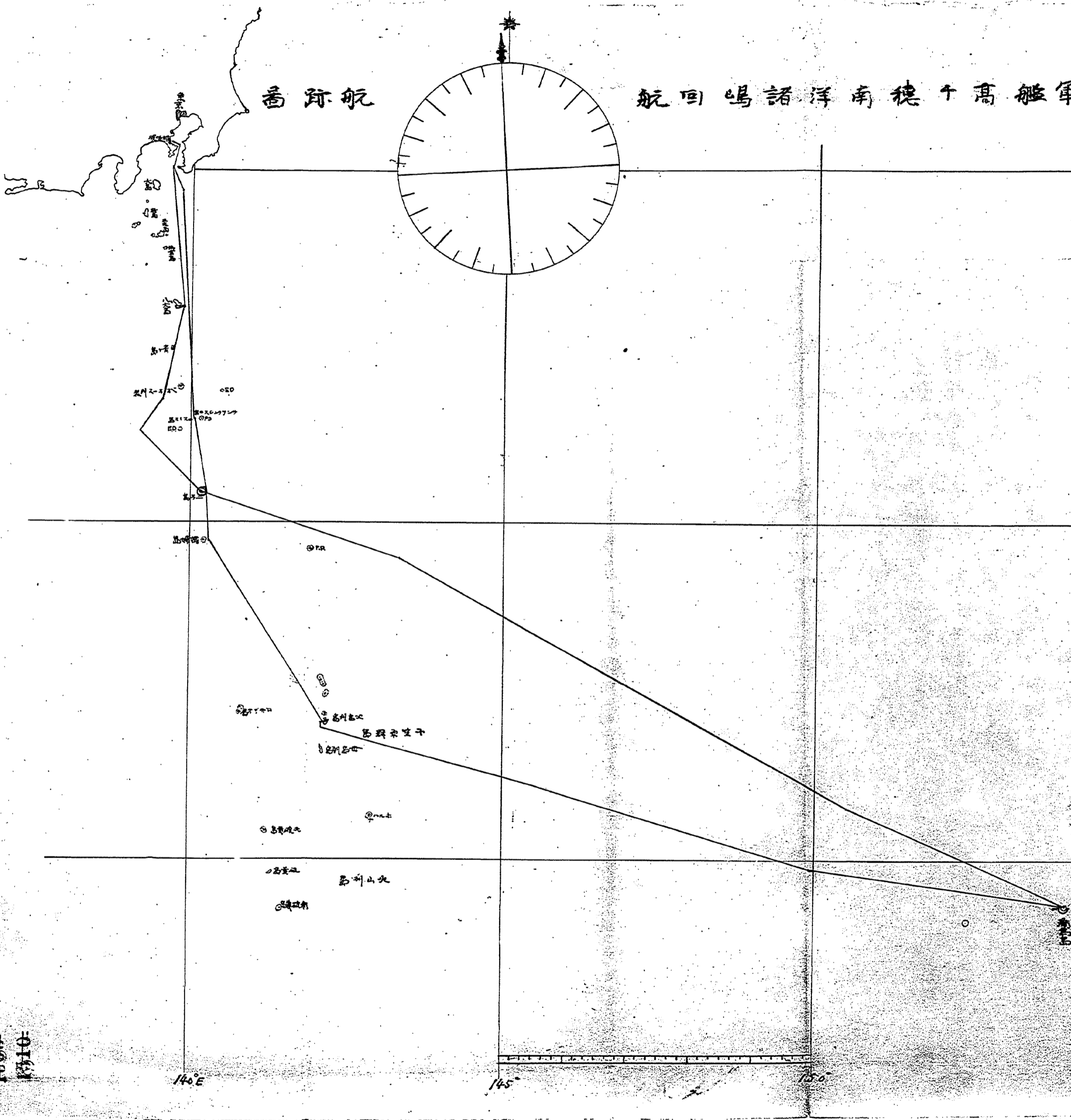
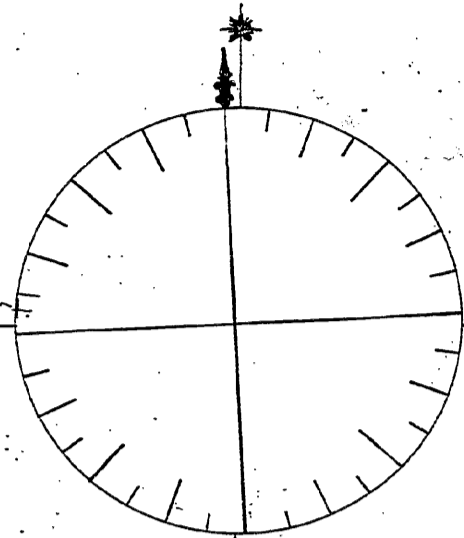
1509
1510

軍艦十徳南洋諸島回航



航跡圖

軍艦千鶴南洋諸島回航



1509
1310

南島島概況

南島島、周囲二里八町ニシテ海岸ニ皆珊瑚礁ナリ全島
樹木密計、苜蓿トシテ牧草茂ルモ清火ナリ故ニ飲料水ハ乏水
ニシテ乏火盡ク盛溜水ヲ取り飲料ニ供ヤリ蓋溜域ハ如キ
不完全ナルモ一日一石ヲ蓄溜スアトテ得ト云フ

當時住民、數ハ二十九人(男十五人、女四人)ナル内二十七人ハ永住
者ニテラカシク南洋マーレニヤシ群島ニ渡航ノ途次本年六月
十五日、一時滞留留スルモニシテ本島ノ永住者ハ水各新ニ設
島ノ拜借人、叔又ナル片倉作次郎年ニ今人ノ妻ノニナリ
本島住民ノ職業ハ梅島ヲ捕獲シ之ヲ半剥製トナスニアリ如シ
トモ捕獲ノ數極メラ多敷ニシテ悉ク剥製トナスコト能ハガル時ハ
唯之ハ羽翼ニミテ取り他ハ之ヲ顧ミマト云フ而シテ海鳥ノ
種類ハニ十餘種アルモ其捕獲スル種類ハホーニ鳥、白燕、白

鳥トモ云フ(里燕ノ三種ニシテ毎年四五月頃ハ梅鳥最モ多ク) 群集ホエ時期ニシテ其布獲ノ最モ多キ時ハ一日人半羽頂ナ
 ルモ漸次其數ヲ減シハ月下旬頃ニ至リテハ僅々四五羽
 ニ過キト云フ而シテ其資金ハ従前ハ総テ一羽ニ金五毛
 ナリシモ在来月首ハ九枚未ホレ鳥ハ一羽白燕ハ五毛
 黒燕ハ三毛五毛ニシテ事別裝ハ資金ハ総テ一羽ニ羽(及別通)
 ナリ又本島樹木ノ種類ハ煙州ノ樹(葉恰モ煙州ノ如キヲ以テ名ク)
 ウドノ樹及椰子ニシテ煙州ノ樹最モ多クハトノ樹之ニ次キ椰子
 最モ少數ナレモ猶八百在ラ下ラハト云フ) 布島トハ地トノ交通ハ年二三回九テ以テ食料店ノ如キ
 所々時ニ設ケテ告ガント了(然ルトキハ此鳥ノ身并ニ皇朝ノ
 及椰子ノ果实(ナシ)僅ニ露年ヲ保クト云フ) 椰子
 實ノ如キ得テ食之ヲ禁シ毎月一回(本島ニ大蛇島沖)

此了毎月酉、日十条ミシラ毎年八月十七日、上条ヲ執行ニト云フ
 三得ノ片倉ノ許ヨリ得修ラ之ヲ採取スルニナリト云フ
 野サ菜、降雨続クトキハ、菜花子、南瓜、瓜、西瓜、唐辛ノ如キ最モ
 成リ生育スルモ降雨ナキトキハ皆枯死ニト云フ
 魚類ハ鯉、烏賊、鮫、其他種々アソビ漁舟ヲ以テスルニアラスガレバ
 捕ルルニト云フ侍公、島ニハ一隻ノ漁舟モアラスガレラ
 住民ハ唯サ、ラオ、カンモ、皮剥、其他ニニ種、外捕ルルヲ得ト云フ
 柳島ハ、穀類ハ一モ棲息セズ
 當時本島ニ貯藏スル食料ハ未ダ長崎島油十樽、味噌、四斗樽
 一樽、米ニシテ二月餘ヲ工トシテ得ト云フ、右年方ナシ
 寛和丸ハ望京島ヲ出帆セシメ、今高利着々住民日々
 其着岸ヲ待テ居ルモノ、如シ
 右南島島ノ概況報告也

高千穂まげ長平 龍山 果菜

高千穂所長 振川 良吉 殿

鳥嶋視察三箇スル報告

明治三十五年八月廿四日午前十時本艦鳥嶋北方海面ニ漂航
 中第二カクツシ及白鷹指揮官上陸者取締荒ニ鳥嶋
 視察ノ命ヲ受ケカクツシニ乗シテ出帆ス今十時三十分
 頃ヨリ千歳湾ニ至リ其西方附近ノ沿岸ヲ潜航シ上陸地ヲ
 視察スルニ人ニ荒天着岸法ヲ行ヒ乗艇者ヲ上陸セシメ後今
 虽反波浪侵入シテ近ツリヲ得ズ然ルニ千歳湾ハ過夜噴
 火ノ為メ堆積セル火山砂及ヒ大山礫ヲ以テ蔽ハシタルハ波浪
 間隙ニ乗シ荒天着岸法ヲ行ヒ乗艇者ヲ上陸セシメ後今
 本嶋視察ヲナセリサレト時間此女ナルト山路ノ急峻ナル
 ニ加ヘテ専門的志想ニ乏シキカ故ニ充分ナル觀察ヲ遂

クル能ハサルハ遺憾トスル所ナリ
 凡ソ火山ニテ第一死火山第二休火山第三活火山ノ三種
 アリ事、何人トモ知ル所ナリ而シテ第一及第二ハ早
 晩爆裂又ハ噴出ヲ為ス者多シ本邦ノ如キ火脈ニ當ル
 邦土若クハ附属ノ島嶼ヲ有スル處ニ於テハ殊ニ頻劇ナリ
 即干震キニハ岩代國磐梯山吾妻山及沼尻山ノ噴
 出アリシニ今又鳥嶋ノ事アリ而シテ阿蘇山ノ如キ時々
 鳴動ヲ聞クト云フニ派ラスヤ警戒一日モ怠ル可ラサルナリ
 抑モ鳥嶋カ火山ノ何種ニ屬セルカハ確言シ難シ蓋シ本
 嶋ハ南洋諸嶋中特ニ交通不便ニシテ久シク無人嶋
 タリ青火ノ記スルハ無ク當路者ノ足跡稀シナルカ故ニ
 照スルハキマナキヲ惜ム然レモ人テ噴火ノ状況ト地勢及
 海岸ノ模様ニテ云々ニ某専門家ノ説ヲ参考シテ卑

見ラ陳述セシトス

千歳湾カ噴火前ニ於ケル状勢ハ慥カ爆裂大口ノ一部
 分ヲ形成シ而シテ海岸ニ侵入セシ人家ノ附近ニ盛シ
 ニ噴出セシ温泉一ヶ所アリ又玉置氏カ清水ヲ得シカ
 高メ堀井ヲ設ケントシタルニ常ニ温泉湧キ出ラリト
 ハ農學士志賀重昂カ嘗テ兩度此嶋ニ渡航セシ際ニ
 觀察キ得タリト云フ実見談ナリ小宮カ上陸ノ後海
 岸ノ一部ニハ四錐形ノ截断せん如キ峻谷アリ山腹ヨリ
 海岸ニ至ル間ニ殘留セル數多ノ層ヲナス瀨島ノ破
 片又ハ二三ヶ所ニ於ケル深キ陥落地アリト多少ノ烟ヲ噴
 出セシトアリトノ事ヨリ思考スレハ本嶋ハ一回若クハ數
 回噴火セシナル可ク現ニ明治八年頃爆裂セシトノ白
 毛アレハ其性質ハ活火山ナラン

爆裂及噴火^{（テラモト）}似テ非ナルモノナリ前者ハ土地ヲ截断シテ爆
 裂飛散セシメ他ハ噴出ノ為メ一凹陥地所謂^{（ハレタ）}ハレタ^{（ハレタ）}ラ形
 成スル者ナルヲ以テ普通ノ場合ニハ断定スルニ難カラス本
 嶋ハ突ニ後者ノ噴出ニ屬シ其一部分ハ爆裂セルヲ認
 ルヲ得可シ即チ海軍海國第百廿九号ノ見取圖中中
 央ノ山錐形高峯ハ殆ント火山灰火山砂大山礫及ヒ
 種々ノ岩片^{（テラモト）}ハ綴介トナリテ噴散シ深サ約八十米
 突東西約二百米突南北約五百米突ニシテ不正ノ形
 單形ヲ為ス而シテ第一回A突ハ山錐形高峯ノ残存
 セシ一部ヲ及ビハ突ハ噴出後火烟ノ發生スル地ニ
 シテ此少ノ音響者ヲ發シ絶エズ水蒸氣亞硫酸瓦斯及ヒ
 硫黃ノ蒸氣等ノ混和物ヲ放出スルヲ以テ遠クヨリ見セハ
 兩所噴出口アルカ如シ而シテ及ビハ突ヨリ昇騰セル

火烟ハ山頂ヨリ四五百米突ノ空中ニ於テ一團トナリ四方ニ
 飛散シ水蒸氣ノ冷結スル毎ニ驟雨ノ現象ヲ呈シ降
 雨トナリ漸時ニシテ止ム如此キ一箇断ナシ又シ突ノ高度
 ノ熱ニ依リ水蒸氣等ヲ沸出セルモ其量多カラサルナリ
 第二團ハシラレシノ見取團ナリ
 本鳴ノ噴出ニ依リ放浮レタル者ノ中ニ就テ火山灰ハ其飛
 散セル範圍最モ廣キヲ見ル蓋シ海中ハ勿論風下則全
 被ニ亘リ且ツ噴火口附近ハ全ク此ノ灰ヲ堆積セリ又火山砂
 及大山礫ハ海岸特ニ千歳灣附近ニ甚シク存在シ今灣
 以西數町間ハ全ク噴出物ヲ以テ蔽ハレタルモ其他ハ雜草
 尚ホ依然トシテ繁茂シ住民ノ培植セシ菓物野菜ハ此
 少ノ被害ナキヲ見ルハ鳴ノ北東側ハ風下ニ當リ悉ク被害ヲ
 受ケ千歳灣ニ流浮放散セル火山灰火山砂及大山礫ハ

尤モ甚シク湾内殆ント砂及礫ヲ以テ包マレテ為ル湾形ノ変
 化ヲ来タセリ第ニ國ハ茅ニカウタシ指揮海軍少尉原敬
 二郎カ本店上陸中鬼測セシ噴火後ノ年歲場ナリ
 海岸ニ后フテ西行シ又急峻ナル坂路ヲ攀登シテ噴火口ニ
 達スル海岸ニ近キ処及山腹処々ノ岩壁又ハ凹陷地ニシテ
 尚ホ大熱ノ甚シキアリ多クハ硫氣瓦斯ヲ發散シ硫黃晶
 華ヲ生セリ漸ク登ルニ從ヒテ燒石火紅石細胞ヲ有スル
 軽石様ノ岩片所謂「ラビ」ノ給碎セル者ヲ以テ包蔽セラレ
 進ムニ從ヒ次第ニ其大サヲ増シ且ツ大山灰ヲ以テ更ニ其上
 蔽フ而シテ爆發火口附近及「クレータ」シ全般ハ大ナル岩片ト火
 山灰堆積セリ

本嶋ニ百廿五人ノ住民數多ク牧牛教禮ノ渙松アリシト云フ
 然ルニ人ヲ沓トシテ聲ナリ若シ知ラサル者ヲシテ見セシハ全リ

無人嶋タリシヲ疑ハサル可シ思フニ此ノ幾多ノ生靈カ地中ニ埋
 没セラレ敬捷ナル家畜ハ勿論海岸ニ繫留シタリト想見ス
 ハキ漢舟ヲモ攀ツテ奪ヒ去リタル酸鼻状態ヲ断案ヲ下セ
 ハ必スヤ夜中ノ出来事ナリシナラン蓋シ噴火ノ事タル卒然ト
 シテ起リ急劇ナル者ナリト虫氏白晝ナレハ一二漢舟ハ遠
 ク海上ニ出テ、漢業ニ従事シ或ハ風上側又ハ無害耕地
 ニテテ作業ヤル者ハ多少生存セシナラン小宮ハ無教ノ蠅ト
 高ク空中ニ飛翔スル二羽ノ鳥カ悲鳴ヲ發スルヲ見ク外突
 後「クレター」内ニ沸騰スル水蒸気等カ更ニ遠カラサル内ニ托
 テ爆裂ノ悲酸ヲ演ズルニ非ラサルヤ豫想セシ而已
 千歳湾ノ西岬ヨリ西方五町斗リニ入リ深サ二十尋以上湾
 入約八十米突兩岸ノ幅約三十米突ニ達シ殆ト長方
 形ヲ為セル入江アリ此處皆テ少シク湾入セシモノ噴火ノ為

陥落シタリ如比且ソノ海中温泉盛ニ噴出シ
海水温度ハ非常ニ高シ

本嶋海濱ノ奇岩絶壁波浪亦大ナリ然レ此日幸ニ天
氣快晴午後ニ至リテ殆ント無風ニシテ波浪モ一層静穏

ナリシカハ上陸乗艇共ニ困難ヲ感スル一少カリキ若シ風
波アラハ刻意上陸ヲ止ツルヲ能ハザリシナラシ

上陸ノ際何等ノ警戒ヲ加ヘスシテ尚コレタリヨリ噴出セルニ係
ラス突然被害甚シキニ歳濤ニ向ヒタルハ稍無謀ノ事ト思考セ

ラル者アルヘシ然レ噴出後既ニ二週間以上ヲ経過シ其後火
烟ヲ噴出ス微弱ナルガ故ニ危険ナラサル可シト専門家説ヲ

採用シタリシ所以ナリ

日本水路誌卷ノ一ニ本嶋ニ海鳥ノ大群集メリトノ事又
當時一羽タテ棲息セサリシ

茅田の島嶋ヲ北西約二哩ヨリ見タル見取図ヲ示ス

別封茅一號ハ大山灰茅二號ハ火山破茅三號ハ火山礫茅四號

ハコラバ破片ナリ

右及報告書也

明治三十五年八月廿六日

海軍大尉淺川乾磨

高千穂艦長海軍大佐梶川良吉殿

別封ノ茅ハ相入前ニ添存ス
三十九日ノ付テ

漢文分社印刷

海軍